

# 水木しげると日本の妖怪展



九里祭展示 8/27・28

## ～日本各地に残っている妖怪伝説～

今年の九里祭で図書委員会は「水木しげると日本の妖怪」というテーマで展示を行いました。水木しげるさんは、NHKの朝ドラで放送された「ゲゲゲの女房」でブームとなり、彼の故郷鳥取県にある水木しげるロードには観光客が大勢訪れました。他にもテーマがいくつが出ましたが、具体的な案が多く出されたため、このテーマを委員会で提案し、全員賛成のもと準備を始めました。まず九里祭係が具体的な案を考え、四つに分かれられた班に仕事内容を伝えていきました。

会場では、一般のお客さんも訪れ、調べた内容や絵を真剣に見て下さり、大変だったけれど頑張つてよかったですと思いました。展示の準備は、部活や宿題などがある中、時間を作つて作業を行いました。みんなで協力したからこそ、完成することができます。来年の文化祭では、夏休みからではなく、その前から準備をしていきたいです。

(二年四組 佐藤 悠)

# 図書館だより

九里学園高等学校 員島印刷  
印刷 (株)川島 21-5511 (代)

装飾は、お化け屋敷風にするため火の玉、墓・卒塔婆を作り、笛を飾り、暗さを出すため暗幕をつけ、製作した行灯でほの暗い雰囲気を作りあげました。また、「ゲゲゲの鬼太郎」のキャラクター「鬼太郎」「猫娘」などの大きなパネル、紙粘土で作った狐のお面、河童や化け猫のうちわを会場内に配置しました。展示会場廊下にも様々な妖怪のイラストと解説文を貼り、興味をひく装飾ができました。

様々な装飾を作りましたが、一番大変だった班は、調べ班でした。日本の代表的な妖怪である河童・天狗・座敷童子・鬼・人魚など様々な妖怪について調べましたが、一つ一つの妖怪に長い歴史があり、日本各地に多くの伝承が伝わっていました。一枚、一枚ではまとめることができず、四、五枚にも渡り、一つの妖怪について書きあげることになりました。

九里祭当日は展示の宣伝のため、鬼太郎や猫娘のコスプレも行いました。宣伝しながら校内を歩くと、多くの人の目を引き、子供からは「鬼太郎だ！」と声をかけられ、鬼太郎とわかつて貰えたことが嬉しかったし、効果的な宣伝になりました。

## 日本に伝わる人魚の姿とは…!?

小国川の弁天淵には若い女の人の人魚がいて、夜になると美しい歌声で歌いました。聞き惚れる舟人は、岩に突き当たり、舟もろとも淵深く沈んでしまいました。

というような、山形県小国町を舞台とした人魚の伝承が書かれています。

みなさんは人魚にどのようなイメージをもっていますか？人魚とは、上半身が裸で下半身が魚の姿をしています。ディズニーの「リトル・マーメイド」のアリエルや絵本、アンデルセンの童話で知っている人が多いと思います。しかし、日本に伝わる人魚は美人ではなく、むしろ不気味でした。日本で始めて人魚という言葉が使われたのは、古今著聞集（鎌倉時代）です。『伊勢国別保の浦人魚を獲て前形部少輔忠盛に献上の事』頭は人間のようだが、頭部の他は魚といふ不気味な姿をしていて、人が近づくと涙を流し、人間そつくりな声で泣き叫んだそうです。漁師たちは、それを食べてしまつたが、味は美味だったと言い伝えています。

日本各地に人魚の伝説があり、人魚のミイラが奉納されている寺などもあります。『羽前小国郷の伝承』には、



(二年五組 粟田亜也加)

2010.12.21

(2)



## 都会と田舎

### 「楽園のつくりかた」

笠生 陽子 著

7/28 九里学園

七月下旬、九里・米工・米商の三校で読書会が行われた。私は三年の夏ということもある、進学合宿を途中で抜け出しての初参加となつた。本校が会場校となり、その準備を後輩に任せてしまつたことは申し訳なかつた。しかし全員が協力して準備が整い、みんなにとても感謝している。

(三年三組 山田 真理)

## 三校合同読書会

テーマとなつた本は「楽園のつくりかた」。都会の中学生が田舎の学校へ転校し、三人の少年少女と交流を深めてゆく物語だ。各々グループを作り、題に沿つて会を進めていく。「米沢は田舎であるか」「都会について、どんなイメージを持っているか」など、身近な内容だったので、他校の生徒も楽しげに意見を交わしていたようだ。

私はやはり地元の方が好きで、都会には息苦しく、常に動き回らなければならないようなイメージがある。私のグループにいた米商の生徒も同じ考え方だつたらしく、その後も時間が区切られるまでかなり盛り上がつた。

今回の三校合同読書会は司会進行を担当し、良い経験ができたと感じる。読書会では、あらかじめ考えておいた議題にそつて各グループで話し合つていつた。他校の生徒と、他愛のない会話ををして楽しく交流するのも毎年恒例のことだが、それも読書会の醍醐味だと感じられる。来年の読書会も充実したものになつてほしい。



## クラス読書会

六月二十三日（五・六校時）

2-3 「人生の地図」 高橋 歩 著(サンクチュアリ出版)  
自分の姿を見つめ、人生の地図を作る。



私のクラスの読書会は、「人生の地図」という本を読みました。この本は著者が選んだ様々な写真や言葉が載っています。それぞれの写真はユニークで思わず引き込まれ、添えられた言葉は人の心に訴えかけるような力があります。た。「欲求」「職」「パートナー」「選択」「行動」「ルール」「物語」というキーワード別に構成されています。人生という名の旅を楽しむためのきっかけになるような言葉に触れることがでできる本です。

私たち、担任の涼子先生の発案で自分たちのあるべき姿を見直すべく「人生の地図」を作ることになりました。まず最初に自分の心に残った写真を撮りました。例えば、友達同士でハート型や星型を手作りしたり、自分の好きなものや場所などを撮ったり、校内を歩き回りました。残念ながら白黒写真でしたが、カラ一にはない、まるで高校時代の青春の一ページを切り取つたような写真ができるかもしれません。

次に写真に添える言葉を選びました。読書会テキストから選ぶ人、自分の好きな歌の歌詞を選ぶなど様々な形で、言葉を選んでいきました。その後、言葉を写真のどこに配置するか設計図を書きました。分かりやすくするために、どう配置するのかを考えるのが一番難しかつたです。

私はこの読書会を通して、人生とは何かを考えました。人生とはひとつの旅と言えるのではないでしょうか。長い旅の中で、自分で地図を作り上げられるような人間になりたい。

(三年三組 大竹 葉月)

「誰でもいい。何でもいい。まずは、憧れることだ。自分の人生を描くうえで『この人みたいに』というサンプルを持つことは、とても有意義だ。すべてのオリジナルは、マネすることから始まるんだから。」

布施友莉恵

## 置賜地区図書委員会研修会

11/11

米沢工業高校

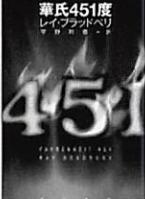
1-5 阿部美乃里

九里生が  
作った  
POPです。

2010. 12. 21

## 名著の伝記 <その14>

# 華氏451度



本を読むということは…

NIEとは、Newspaper in Educationの略で、学校などで新聞を教材として活用することです。新聞はリアルに社会を捉えながら学べる「生きた」教材です。皆さんは新聞を読む習慣がありますか？三年生になつて就職試験や受験の面接でどういう質問を投げかけられるのでしょうか？「最近気になるニュースはありますか？」皆さんは、この質問に答えられますか？今から新聞を読む習慣を身に付けてみませんか？

本校は、教育現場で新聞を活用する「NIE」の二〇一〇年一度推薦指定校に認定されました。日本経済新聞、産経新聞、読売新聞、河北新報の四紙が無料提供されています。

NIRETSUDE何?

新聞をあ  
まり読まな



# 読書の楽しみ

# 読書は財産

# 我妻 孝浩 先生 (数学)



「華氏451」  
所持や読書が  
の感覚的なな  
より所持して  
主人公ガイは  
彼女と交流す  
からこそそん  
誰もが本を  
情報を与えた

交流を持つうちに、自分のやっていることに疑問を持ち始める。ついには仕事場でつそり本を持ち帰り、様々な本を読み、社会へ疑問を持つ。が本を読まなくなり、代わりに「海の貝」という超小型ラジオにより、どこでも与えられる。家では巨大なテレビを見る。本などなくても人々は幸福に暮していく。だが、それは幸せなのだろうか。ただ情報を与えられるだけで、人々は疑問を感じ、考えることをしない。その姿は管理された畜生のようだ。携帯電話などを持ち、日々情報にさらされている姿と重ならないだろうか。ただ本を読むだけではなく、読んで得たのをどう自分に生かしていくか。そんな読書の姿を考えさせられる一冊である。

「は大きいでしょう。実際私も、アルバイトで入つてきた後輩に対し、こいつには負けられないな、というひそかな闘士が湧き上がってきて、こういう場面こそ予想以上の力が發揮されるのだな」と実感しました。

二つ目は、「知らないことだらけだと分かれば、勉強が進んだ証拠である」と

一つ目は「こいつはヤバいい」という人に出会う」という事。多くの場合は先生や先輩、また同世代の友人なのですが、出会う事によって刺激を受け、自分の中からこのままではいけないというエネルギーが湧き上がり、予想以上の力が發揮されるのではないかでしょう。もしそれが年下であれば、プライドがあるのでなくさら湧き上がるエネルギー

高校のころの私はどちらかと言えば本を読まない方で、本屋に立ち寄った時もよく雑誌コーナーに向つていた記憶があります。そんな私が大学の時やついていたアルバイトの休憩中に読んだ「大学時代にしなければならない50のこと」という本から特に面白かったものを二つ書きたいと思います。

# 編集後記\*

今回初めて編集をしてみて、割り付け作業が意外に難しかったです。協力しながらなんとか上手く編集できました。

編集でござたと思ひります。  
一人ひとりが一生懸命書いてくれています。一つぐらい読んでいただけると嬉しいです

みなさんには読書に対する  
どんなイメージを持つて  
るでしょうか。私は、誰  
も邪魔されない自分だけは  
財産を得るものだと思いま  
す。皆さんも、これから  
山の本と出会い自分の中  
財産を素晴らしいものに  
ましょう。